

## 男女共同参画啓発紙芝居「なにがすき？」を読む前に

- ★この紙芝居は、女の子、男の子という周囲から期待された固定的な役割を生きるのではなく、子ども一人一人が持っている個性を大切に生きて欲しいという願いを持って作りました。
- ★幼児期の好き - 嫌いは自分らしさを求める姿であり、好きなものや人を大切にしようとする社会性を育む源です。  
この紙芝居は、「なにがすき？」と問いかける先生と「〇〇がすき」と答える子どもたちとの会話のやりとりを楽しむものです。この紙芝居を通して、子どもたちが自分らしくあることの心地よさ、自分と好きなものがちがう友だちのよさを自然に感じ取ってもらえたら嬉しいです。
- ★「いろんな〇〇があるね。なにがすき？」というシンプルな繰り返しのフレーズによって、年少児も「これ」と好きなものを指差しできるようにしています。
- ★身近な生活から、小学校生活、将来の仕事へと時系列でなにが好きかを考える構成にし、年長児まで幅広く使えるように工夫しました。
- ★紙芝居としてだけでなく、一部を抜き出して絵カードとしても使うこともできます。